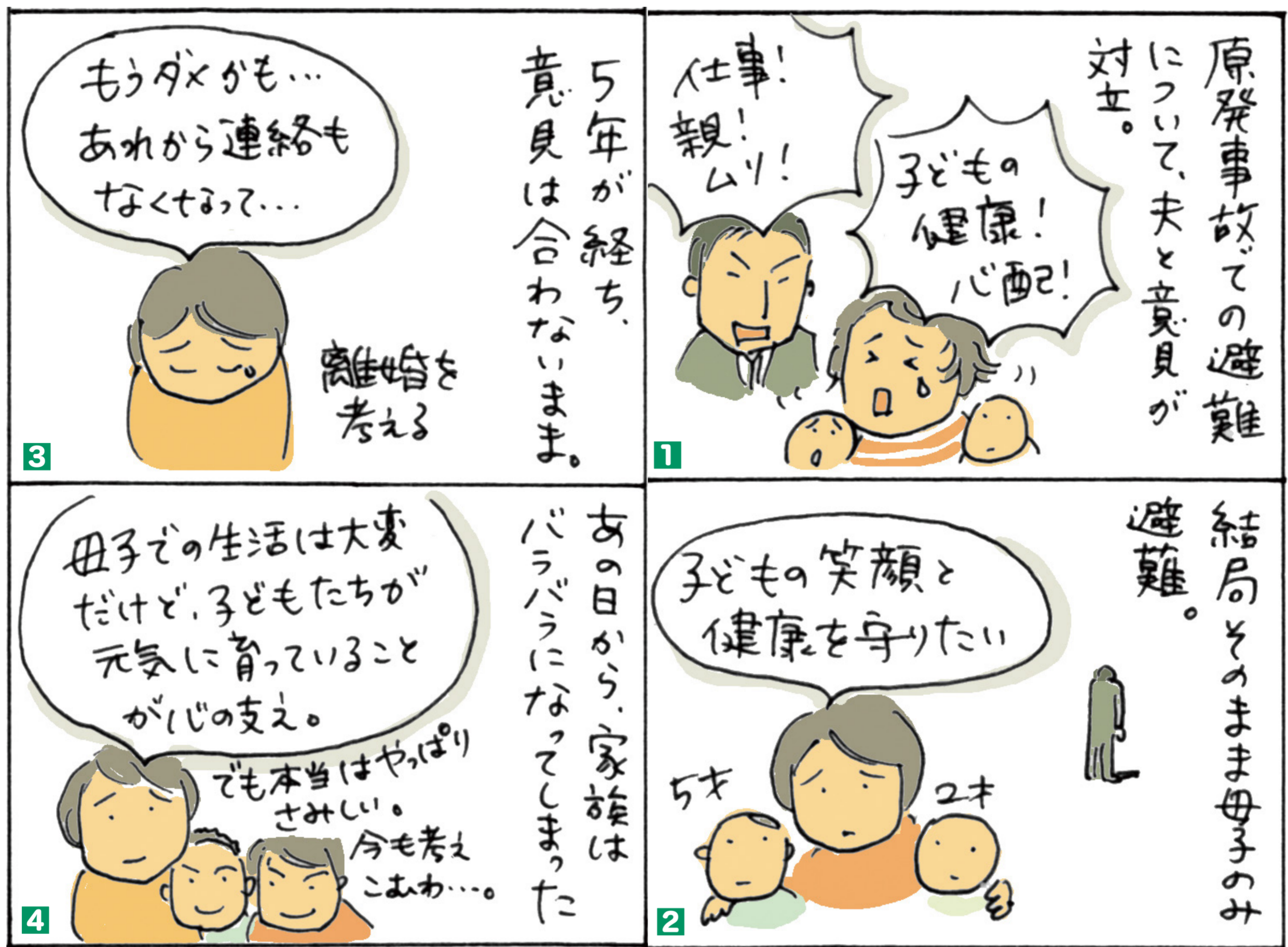


原発さえなければ



震災や避難を経験した若者からのメッセージ

- 震災だけでなく原発事故の被害も大きかった。原発事故について政府はほとんど情報を開示していなかったため、母が必死に情報収集していました。物的な備えも大切ですが、震災が起きたときには住む場所が変わるかもしれないという可能性も考えておくといいと思います。
- 原発事故後の福島での制限のある暮らしと、避難後の名古屋での経験は、どちらも同じくらい大変で、どちらがよかったということはなく複雑。震災以降、バラバラに暮らしている家族がずっと気がかりです。物理的に離れているし、一人っ子なので、親のことでいざという時に頼れる人がいないから心配です。
- 日常はある日突然崩れます。一度崩れたものは時間をかけて元に戻るものもありますが、戻らないものもあります。「自分は大丈夫、そんなこと起こらない」と心のどこかで思っていないですか。私も震災当時そう思っていました。でもそれはある日突然やってきます。なので、当たり前だと思っている今と家族を大切にすることが後悔なく生きることに繋がります。今あるかけがえのないものを大切に。そして「想定外だった」を一つでも減らし、出来ることから備えることが自分と自分の大切なものを守るためにできることです。
- 放射能のことを友達に話すと、9割方「放射能は大丈夫なんでしょ」と言われる。めちゃくちゃ気にする必要はないと思うけど、ちゃんと知って欲しいと思う。

311県外避難者について考えよう